

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第3区分
 【発行日】平成21年6月4日(2009.6.4)

【公開番号】特開2007-300556(P2007-300556A)
 【公開日】平成19年11月15日(2007.11.15)
 【年通号数】公開・登録公報2007-044
 【出願番号】特願2006-128580(P2006-128580)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/225 (2006.01)
 H 0 4 N 7/26 (2006.01)
 H 0 4 N 5/232 (2006.01)
 H 0 4 N 5/91 (2006.01)
 H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/225 F
 H 0 4 N 7/13 Z
 H 0 4 N 5/225 C
 H 0 4 N 5/232 Z
 H 0 4 N 5/91 Z
 H 0 4 N 7/18 D

【手続補正書】

【提出日】平成21年4月20日(2009.4.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

撮像手段で撮像された動画に含まれる第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を指示する指示手段と、

前記指示手段によって指示された前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を記憶すると共に、前記第1の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報を記憶する記憶手段と、

前記動画に含まれる第2の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を、前記第2の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報と、前記記憶手段によって記憶される前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置と、前記第1の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報と、に基づいて決定する決定手段と
 を備えることを特徴とする動画像処理装置。

【請求項2】

前記撮像情報には、前記撮像手段の回転角に関する情報が含まれることを特徴とする請求項1に記載の動画像処理装置。

【請求項3】

画像フレームを表示する表示手段を更に有し、
前記撮像情報には、撮像時刻に関する情報が更に含まれ、
前記決定手段は、前記付加データを表示させる画像フレームの撮影時刻に関する指定時間が指定された場合、
撮影時刻が前記指定された指定時間に対応する前記第2の画像フレーム上に表示させる

付加データの表示位置を、前記第2の画像フレームを撮像する前記撮像手段の撮像情報と、前記記憶される前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置と、前記第1の画像フレームを撮像する前記撮像手段の撮像情報と、に基づいて決定し、

前記表示手段は、前記決定された前記第2の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置に基づいて、撮影時刻が前記指定された指定時間に対応する前記第2の画像フレームを表示することを特徴とする請求項1に記載の動画像処理装置。

【請求項4】

前記決定手段は、前記第2の画像フレームのズーム率に関する情報に応じて、前記第2の画像フレーム上に表示させる付加データの表示サイズを調節することを特徴とする請求項3に記載の動画像処理装置。

【請求項5】

前記撮像情報は、画角の情報を含み、

前記決定手段は、前記第2の画像フレームの画角の情報に応じて、前記第2の画像フレーム上に表示させる付加データの表示サイズを調節することを特徴とする請求項1に記載の動画像処理装置。

【請求項6】

動画像処理装置が行う動画像処理方法であって、

撮像手段で撮像された動画に含まれる第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を指示する指示工程と、

前記指示工程によって指示された前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を記憶すると共に、前記第1の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報を記憶する記憶工程と、

前記動画に含まれる第2の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を、前記第2の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報と、前記記憶工程によって記憶される前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置と、前記第1の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報と、に基づいて決定する決定工程と、

を有することを特徴とする動画像処理方法。

【請求項7】

コンピュータに、

撮像手段で撮像された動画に含まれる第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を指示する指示手順と、

前記指示手順によって指示された前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を記憶すると共に、前記第1の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報を記憶する記憶手順と、

前記動画に含まれる第2の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を、前記第2の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報と、前記記憶手順によって記憶される前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置と、前記第1の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報と、に基づいて決定する決定手順とを

実行させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】動画像処理装置、動画像処理方法及びプログラム

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 0 9 】

上記目的を達成する本発明に係る動画像処理装置は、撮像手段で撮像された動画に含まれる第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を指示する指示手段と、

前記指示手段によって指示された前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を記憶すると共に、前記第1の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報を記憶する記憶手段と、

前記動画に含まれる第2の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置を、前記第2の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報と、前記記憶手段によって記憶される前記第1の画像フレーム上に表示させる付加データの表示位置と、前記第1の画像フレームの撮像範囲を特定するための撮像情報と、に基づいて決定する決定手段とを備えることを特徴とする。